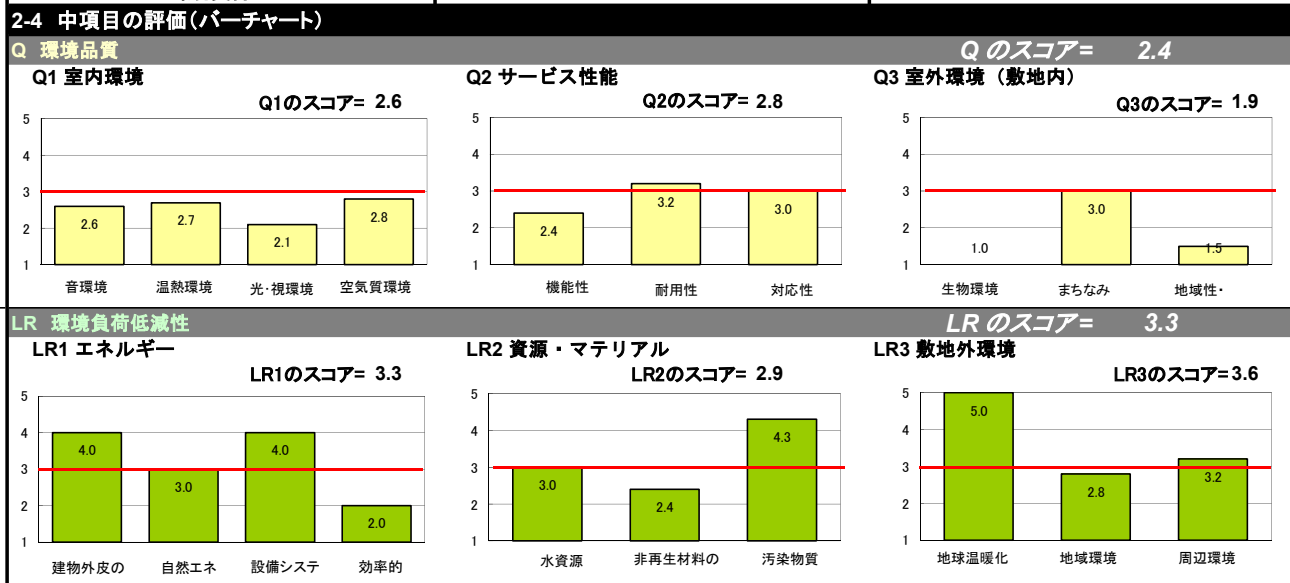
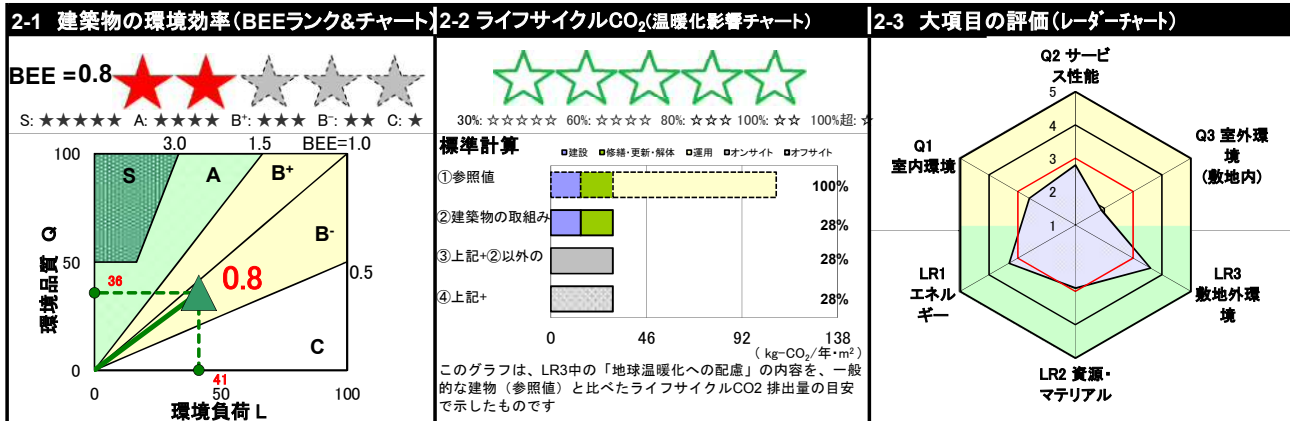


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社アサヒピーエム様工場新築工	階数	地上2F
建設地	浜松市南区鶴見町1523 他3筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	38 人
地域区分	4地域	年間使用時間	2,350 時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2015年11月25日
敷地面積	4,833 m ²	作成者	山崎 隆史
建築面積	2,249 m ²	確認日	2015年11月25日
延床面積	2,464 m ²	確認者	山崎 隆史



3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2014年度版)による評価結果です。		その他 0
Q1 室内環境 工場空間への自然光の効率的な利用や、明るさと量のバランス、温度・湿度管理、主要となる空間の天井高さなど、従業員の作業環境に配慮した計画を行った。	Q2 サービス性能 建築物を長く、より良い状態で使い続けられるよう、耐用性・信頼性は可能な限り標準以上となるよう配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内の室外環境は、生物環境の創出や、街並みに合った景観・防犯性の観点から緑地をできる限り広く確保した。
LR1 エネルギー エネルギー消費に伴い発生するCO ₂ 削減に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 部材の再利用や、リサイクル材の使用は困難であったが、有害物質については極力含有しない材料の使用に配慮した。	LR3 敷地外環境 騒音・振動など周辺環境への影響や光害の抑制等に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される